

# 方針と今後の取り組み

## アンダーパス連続化事業を進めます

これまでの経過を踏まえ、都市部活性化や交通の円滑化、緑地空間などを生み出すアンダーパス連続化を進めることとしますが、地上部などの議論については平成十六年度も継続します。十六年度に実施設計を行うとともに、工事に着手し、二十年度の完成を目指します。



## 北大通の東伸については検討を継続します

北大通の東伸については、交通の円滑化や東側地区の開発を進める上で、アンダーパス連続化と合わせて整備することが必要です。ただし、地上部の空間活用の検討結果、創世一・二区計画<sup>\*</sup>や東側街区の動きなど、周辺におけるまちづくりの展開を見極める必要があるため、東伸の方向性については、引き続き調整を行い、検討を継続します。



## 今回の事業で反映可能な意見を取り入れていきます

市民活用などソフト面での検討周辺のみならず、緑地・広場の活用方法について市民に開かれた議論を行い、検討を進めます。



**利用を考えた河川断面の検討**  
水と緑の空間の充実に向け、市民に開かれた議論の場を新たに設け検討していきます。

## 狸小路と二条市場間のイベント広場

地下道を廃止し橋を架けることは、当初計画に盛り込んでいます。これを広場として活用できるよう実施設計の中で検討していきます。

## 騒音などの環境対策

緑地整備の工夫や騒音の少ない舗装を取り入れるなどの対策を検討します。

## 現時点で反映が難しい事柄も検討課題とします

大通と創成川の緑地接続と、地上部の片側一車線化については、現在の自動車交通量から判断し、今回の事業への反映は難しいと考えます。交通量の変化や周辺のまちづくりを見据えながら検討していきます。

<sup>\*</sup>創世一・二区計画Ⅱ大通と創成川が交わる「大通西」「大通東」「北一西」の三つの街区のまちづくりを推進する計画。

## これからも共に議論をしていきましょう

ご覧いただいたように、札幌の都心で計画されている二つの事業について、このほど重要な判断をしました。



市民1000人ワークショップで

この方針に基づき、国をはじめとする関係機関との協議・調整を進めるとともに、必要な経費を盛り込んだ平成十六年度予算案を、二月二十五日から始まる市議会定例会に提出したいと考えています。

両事業とも整備を進めるといふ決断をしましたが、市民の皆さんからはさまざまな意見が寄せられており、引き続き議論を行う場を設けながら、それを可能な限り事業に反映させていきたいと考えています。

今回の特集は、新年度予算の議論に先立ち、本市の考えを多くの方にご覧いただき、活発な議論を行っていただくことと企画しました。今後も、このように重要な本市の施策について、市民の皆さんの判断材料となるような情報を早い時期に提供していきたいと考えています。札幌市長 上田文雄

### お問い合わせ

- 札幌駅前通地下歩行空間について  
交通企画課 ☎(21)2492
- 創成川通アンダーパス連続化について  
街路課 ☎(21)2622

※十一月の1000人ワークショップの結果を市民の皆さんに報告するフォーラムを3月に開催予定です。詳しくは、3月号で紹介いたします。